

午後Ⅱ試験

全問に共通して、IT ストラテジストとしての経験と考えに基づいて、設問の趣旨に沿って論述することが重要である。設問の趣旨から外れた論述や具体性に乏しい論述は、評価が低くなってしまうので、是非、留意してもらいたい。

問 1（情報通信技術を活用した非定型業務の改革について）では、意思決定を支援するために基幹情報システムから提供されるデータを分析活用する事例を論述したものが非常に多かった。事業方針・戦略策定などの非定型業務を中心的な対象範囲とする先進的な情報通信技術を活用したワークスタイル改革まで論述できていたものは少なかった。

問 2（事業の急激な変化に対応するためのシステム選定方針の策定について）では、システム選定方針はおおむね論述されていたが、事業の急激な変化に基づく強い制約条件との関係付けが曖昧なものやシステム選定方針を策定した理由の論述に具体性が乏しいものが散見された。また、システム選定方針ではなく、個別システム開発の方針に終始した論述も見られた。

問 3（組込みシステムの企画・開発計画におけるリスク管理について）では、おおむね IT ストラテジストとしての視点から、設問の趣旨を理解して論述しているものが多かった。しかし、具体的な分析手法や対応策、多面的な評価などによって経験や知識をうかがわせる論述がある一方、リスクとリスク源の混同など、リスク管理についての理解が不足していると思われる論述も散見された。